



【第4 2期初級陸曹特技課程「准看護師」卒業式】

平成31年3月7日

自衛隊札幌病院准看護学院（学院長 高橋 1 佐）は、北部方面衛生隊長、北部方面総監部医務官、北部方面総監部人事課長・訓練課長、北部方面衛生隊最先任上級曹長及び病院関係者が臨席する中、平成31年3月7日（木）第4 2期初級陸曹特技課程「准看護師」卒業式を実施しました。

卒業にあたり、病院長（大鹿陸将）は「覚悟を持って」「修練を怠るな」の2点を掲げ、“全力で戦う仲間を全力で支え助ける覚悟”を保持し、第一線の隊員たちの信頼に足る衛生救護陸曹を目指すとともに、医療従事者としての修練を怠らず、人間性の修練、看護技術・知識の修練を常に心から離さぬよう要望しました。また、准看護学院長は、2年間で学んだことを活かし、何事にも前向きに取り組み、努力を怠らず、周囲と協調して職務にあたり、知力・体力・気力を兼ね備えた自衛隊衛生を代表する“准看護師”という資格に誇りを持ち、そして勇気を持って任務に臨むよう激励するとともに、不安な時は母校を大いに活用し、共に学んだ同期の絆を大切にせよと要望しました。祝辞を述べた北部方面総監部医務官（竹島 1 佐）は、「常に任務に返れ」「識能の維持向上に努めよ」の2点を掲げ、任務分析により自らの地位・役割、具体的に達成すべき目標を明らかにするとともに、2年間で築いた基本基礎に磨きをかけ研鑽を積むよう激励しました。

学生代表は、2年間で培った識能に磨きをかけ更なる精進を重ねる抱負と感謝を述べ、志と期待を胸にした23名（男性13名、女性10名）は、病院職員とご家族に見送られて全国へ飛び立ちました。

なお、病院長褒賞が森雄斗3曹、学院長褒賞が澤崎力3曹・千田弓莉菜3曹に授与されました。



課程教育修了申告



卒業証書授与



病院長褒賞授与



式次第
開会
国歌
式歌
卒業証書授与
訓勉
閉会



記念撮影



後輩と固い握手



助教から熱いエール



卒業生から感謝の言葉